



Q1 巢子新駅計画を白紙に

川原 清 議員

A1 早期開設を目指したい



議員全員協議会で計画地を調査

Q1

巢子新駅計画は最初の計画から4回も変更され迷走している。地主は「駅用地として買った」と金融機関に説明していると聞く、農業委員会の許可も不透明でありこの際、白紙撤回をすべきでは。修正した計画でも土地代金に3億3700万円もかかり、推計で坪当たり6万5000円くらいだが高すぎる。実勢価格の28倍で取引がされたと報道されているが土地の異常な価格での取引が全体金額を押し上げている。村民がわかるように説明せよ。農業委員会では一度不許可にしたものを一転許可した。農業目的以外の購入

は県許可であり、農委は農地法違反を犯した。農水省事務次官通達にも違反するのではないか。地権者全員の了解が得られるか。不動産鑑定結果を公表せよ。村長は6月に「法的措置をとる」と発言をしたがその後の経過について伺います。

A1

在来平行線は沿線住民の重要な交通機関であり沿線自治体を取り組まなければならない。IGRの経営を安定させるためにも新駅は必要であり早期の開設を目指します。駅関連施設に金がかかりすぎるという

批判があつたため、計画を修正し総事業費を半分に抑えての今回の提案です。

農業委員会の判断は耕作目的としての許可であると認識しております。地権者の了解については全員得られるものと判断しています。

不動産鑑定の結果については個人情報保護条例に基づき公表できません。法的措置については熟慮中である。

Q2

所有者は、村に依頼されて土地を買ったと報道されているが事実か。

A2

頼んだことはありません。

Q3

駅予定地の他にも開発予定地を先回りして買っている事実がある。村の幹部との連携が無ければ出来ない芸当だが何う。

A3

事実無根である。

Q4

農業委員会会長は農水省事務次官通達を知っていたか。

A4

知りませんでした。